

# このファイルについて

トロントでは、CAJLEとジャパン・ファウンデーション・トロントとの共催で「日本語学習を継続させる」という集まりを2009年より数か月に一度実施しています。

このファイルは、2014年10月と2015年2月に集まった現職教師たちのグループ作業によってまとめられました。限られた時間での作業でしたので不十分な記述の箇所もありますが、現場の教師たちが試行錯誤で行った教材分析の結果をほかの先生方と共有したいと思います。みなさんがこの教材について知りたいと思われた時の一つの参考資料としてお使いください。

本ファイルには客観的な記述に加え、分析を行った先生方がご自分の経験やお考えに基づいて書かれた意見・感想の箇所があります。あくまで、そう思われる方がいる、という目で読んでいただければ幸いです。このような成果物をみなさまと共有するにあたっては、よい意味でみなさまご自身が批判的に個々の教材をご覧になれるように、その材料を提供するという意図もあります。したがって、書かれた内容そのものに焦点を当てていただくために、分析に携わった方々のお名前はあえて記しておりません。ご質問等ございましたら、[cajle.pr@gmail.com](mailto:cajle.pr@gmail.com)宛てにお送りください。

「日本語学習を継続させる」CAJLE担当 小室リー郁子（2015年3月）

# このファイルの作成に至るまで

- トロント地域で使用されている以下の初級総合教材を分析対象としました。
  - 『げんき 1』 『文化初級日本語』 \* 『みんなの日本語 I』 『Japanese for Busy People I』 『Mirai Stage 1』  
(\* 『文化初級日本語』 は、日本でよく知られた教科書であるにも関わらずトロント地域の学校や教師に知名度が低いことが明らかになったため、あえて今回の分析対象とし、ともに学習することを目的としました。)
- 一種類の教材（教科書）につき、2～3人の教師が担当し分析を行いました。二回の勉強会では、メンバーが入れ替わり、各人が一回目とは異なった教材を担当することになりました。
- 二回の勉強会では、グループごとにこのファイルへの記入を行い、それを用いて全体で発表を行いました。一回目は、教材全体について、二回目は「好きです」を扱っている課について焦点を当てました。このファイルのテンプレートは、この教材分析を企画した担当者が作成しました。
- 具体的に一課分を詳細に見るにあたり、「好きです」が扱われている課を選びました。それは、「好きです」がどの初級教科書においても共通して扱われている項目であり、相互比較が可能であろうと判断したためです。

# みんなの日本語 I Minna no Nihongo I

1998年3月16日／2012年8月2日（第2版）  
スリーエーネットワーク  
2500円（2013年現在）

2014年10月25日（土）「日本語学習を継続させる16」および  
2015年2月7日（土）「日本語学習を継続させる18」において作成

# シリーズ

- みんなの日本語初級 I
- みんなの日本語初級 II
- みんなの日本語中級 I
- みんなの日本語中級 II

# 関連教材

## 翻訳・文法解説

(英語、ローマ字、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、ベトナム語、イタリア語、タイ語、ロシア語、インドネシア語)

## 標準問題集

## 書いて覚える文型練習帳

## 漢字 (英語版、ベトナム語版)

## 漢字練習帳

## 導入・練習イラスト集

## 絵教材CD-ROMブック

## 聴解タスク25

## 初級で読めるトピック25

## 教え方の手引き

## CD5枚セット

## 会話DVD

# オンラインリソース

(<http://www.3anet.co.jp/>)

# 表記

- 導入

- 平仮名：第1課の前に「はじめに」、ここで平仮名とカタカナを学ぶ。
- 片仮名：
- 漢字：第1課からふりがな付きで入る。
- 漢字練習帳で、漢字そのものを練習。

- 本文

- 全課仮名表記
- 英訳および他の言語の訳は別冊である。

# 対象と目標

- 対象：

初めて日本語を学ぶ人、職場・家庭・学校・地域などで日本語によるコミュニケーションを今すぐ必要としている外国人のみなさん。主として、一般社会人を対象とするが、大学進学の前準備課程、専門学校・大学での短期集中用教科書としても勧められる。

- ゴール：

日常生活の基本的な場面において、簡単な日本語によるコミュニケーションを可能にする。初級段階での実践的会話力の養成を目的としている。また、同時に、日本語の「文法」や「語彙」を体系的に習得させ、初級後期の学習、さらには中級へとつながる日本語の基礎力を培うということを目指している。



# 特徴

- できるだけ日本事情と日本人の社会生活・日常生活を反映させている。
- 国の内外のさまざまな学習者と地域の特性にも支障なく、日本語の学習が楽しく進められるように内容の充実と工夫が図られている。

# 全体の構成 1

- 全249ページ（8ページ/課）白黒にピンクのハイライト
- 全25課（各課にトピック：例「初めまして」）
- 文法解説：無し（別冊に文法解説あり）
- イラスト：有
- 写真：無し
- 地図・データ等：地図、データ無し
- 音声：CD付き
- 索引：学習項目一覧、動詞の活用表、解答例・問題のスク립ト

## 全体の構成 2

- 標準的なコースの流れと所要時間
- 最低100時間から150時間を想定。
- 1課～25課（1課あたり、平均4時間）

# 各課の構成

## 1. 文型

一文の基本的を示す。（できるだけ主語・述語の完結している形で。）

## 2. 例文

一文型を質問と答えの形に展開。

一主語の多用を避け、実際の発話として自然な形で。

一文型以外の学習項目も含む。

## 3. 会話

一日常的な話題で、自然に近い会話文

一日常生活でよく使われるあいさつ・慣用表現。

## 4. 練習A~C

A:文型・活用の形などを視覚的に提示。

B:文法の構造の定着のための徹底的練習、イラストの多様。

C:談話単位の練習、場面性のある短い会話での会話の流れの練習、慣用表現の使い方、イラストから状況の把握。

## 5. 問題

一個人質問、聴解、文法、読み物（第6課以降）。

# グループでの気づき & 感想 【全体】 1/2

- 副教材が多い。  
全部使いたくても時間的・経済的に難しい。
- 本冊中に文法解説が含まれていない。（全て別冊）  
本冊だけでは学習・練習を進めにくい。練習問題も指示（例：ことばを変えて文を完成しなさい）が無いので、教師がこの特徴を十分把握した上で、学習者に十分な情報を与えなければならない。
- 第1課からふりがな付きで漢字語彙が入っている。  
ふりがなから意味だけを理解して、漢字そのものを語彙として覚えきれていない学習者がいるのではないか。

# グループでの気づき & 感想 【全体】 2/2

- 練習問題が豊富。  
他の教科書を使用しているも、追加の練習問題として使うことができる。
- シンプルな例文が載っている。  
文法解説に使いやすい。

# 「好きです」の課：第9課

- 第9課で取り上げる文法
  - ～がわかります／～があります／～が好きです／嫌いです／～が上手です／下手です
  - どんなN
  - 頻度の言葉（よく／だいたい／たくさん／少し／あまり／全然）
  - ～から（理由）
  - どうして
- 第38課では「動詞辞書形十のが好きです」が取り上げられている

# 「好きです」の課：第9課

- トピックや場面（文脈）  
食べ物、スポーツ、趣味について話し合う。  
とても／あまり等を組み入れて表現できる。  
所有／予定の有無を説明できる。  
理由を説明して結果を述べる。  
理由を聞く。



# 「好きです」の課：第9課

- 練習のパターンとタスク

- 語彙：

- 文法確認

- 代入練習と変換練習によるパターンプラクティス
- ペアによる短い会話練習
- 聞き取り
- 書き
- 読み

- 文法と四技能

本書では文型を理解することに重点が置かれている。理解できた後、読む書く聞く話すの練習は別冊にてそれぞれ行う。

# グループでの気づき & 感想 【第9課】

- この課ではトピックや場面で文法項目を取りあげているのではなく、「～が…」の構造を使う文法がまとめあげられている。